

2020年9月23日

各位

株式会社 bitFlyer

イーサリアムクラシック（ETC）の現状と当社の今後の方針について

イーサリアムクラシック（ETC）の現状と当社の今後の方針について、お知らせいたします。

ETCは、8月初旬よりETCのブロックチェーンに対する51%攻撃と呼ばれるシステム攻撃によって度重なるリオーグが発生いたしました。また、8月下旬にも再度51%攻撃が発生するなど不安定な状況が続いています。

これに対し、Ethereum Classic Labs（ETCネットワークの主要開発団体の一つ）は活動内容を公開しており、8月初旬の51%攻撃を受け、Ethereum Classic Labsは弁護士事務所と協働し法的な救済措置を求めていく考えを[発表](#)しています。

また、今回の攻撃が可能となった背景には匿名で攻撃に必要なハッシュパワーを借りることのできるハッシュレンタル市場の存在があると考え、規制導入に向け活動することを[表明](#)しています。

当社では、これらの攻撃に対する安全対応措置として、ETCのお預入に必要な承認数を引き上げたほか、9月15日よりETCのお預入を一時停止いたしました。なお、当社では従来から承認数を十分に高く保っており、お客様のご資産は攻撃の影響を受けておりません。

当社は今後も、当社ではセキュリティ・顧客資産保護を最優先に取り組むとともに、Ethereum Classic Labsなどによる発表資料やコミュニティによる各種ブロックチェーンセキュリティ向上施策の検討状況などの動向を追いながら、適宜対応と情報発信を行ってまいります。

51%攻撃とは

51%攻撃とは悪意のあるグループまたは個人により、ネットワーク全体の採掘速度の51%（50%以上）を支配し、不正な取引を行うことです。ひとつのノードが全体の計算能力の過半数を支配すると、（1）不正な取引の正当化（2）正当な取引の拒否（3）採掘の独占を行うことが可能となります。現在51%攻撃に対する有効な対策はありません。

詳細は当社用語集「[51%攻撃](#)」をご確認ください。

リオーグとは

リオーグとは、ブロックチェーン上で取引の内容が書き換わってしまう状態を示します。通常、お客様からいただいた外部のアドレスと当社のアドレスとの間でのお預入やお引き出しの取引のご依頼は順次ブロックチェーン上のブロックに記録され確定されていきますが、この記録対象となるブロックを特定できないことから取引を記録することができず、よって取引の内容を確定することが出来ない状態が発生している状況を指します。

承認とは

承認とはトランザクションが新たなブロックに含まれることをいいます。トランザクションがどのブロックにも属していない場合は未承認です。いずれかのブロックに属している場合にその取引は承認を得たと表現します。その取引の属するブロックの後ろにほかのブロックが追加されることで承認数が増えていきます。

ブロックチェーン上で支払う手数料が低い場合、なかなかブロックに含まれず未承認の時間が長くなることがあります。

詳細は当社用語集「[承認](#)」をご確認ください。

今後とも bitFlyer をよろしくお願いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 bitFlyer 広報担当

〒107-6233 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

サービスサイト：<https://bitflyer.com> お問い合わせ先：<https://bitflyer.com/contact>